

■■■■ 福祉社会学会ニューズレター第41号 ■■■■
Japan Welfare Sociology Association Newsletter No.41

<http://jws-assoc.jp/>
E-mail: ws@univcoop.or.jp

***** INDEX *****

■第14回福祉社会学会大会プログラム(速報版)について

■第14回福祉社会学会大会 プログラム(速報版)

※この号はメーリングリストおよびWeb上での配信のみとなっています。

■第14回福祉社会学会大会プログラム(速報版)について

福祉社会学会会員各位

本年6月18日(土)、19日(日)の両日に奈良女子大学(奈良県奈良市)にて開催が予定されている第14回福祉社会学会大会のプログラムの速報版をお届けします。

大会参加費等の事前振り込みについては、この後別途お知らせいたします。

本年度より、プログラムや事前振り込みのための郵便振替用紙の郵送は廃止となり、すべてメールでの配信となります。

どうぞご理解のほど、よろしく願いいたします。

福祉社会学会研究委員長 稲葉昭英(慶應義塾大学)

■第14回福祉社会学会大会 プログラム(速報版)

開催校:奈良女子大学(奈良市北魚屋西町 近鉄奈良駅下車徒歩5分)

		一般	学生
大会参加費	事前振込	3000円	1000円
	当日	5000円	3000円
懇親会費 事前振込		4000円	1000円
	当日	5000円	3000円
お弁当(2日目)		1080円	1080円

第1日目 6月18日(土)

10:30-11:30	編集集委員会(S125)	研究委員会(S124)
11:30-13:00	理事会(S124)	
12:30	大会受付開始(総合研究棟(文学系S棟1F西ホール))	

13:00-15:00 自由報告

＜第1部会＞ 社会福祉組織 (S128)

司会:木下武徳 (立教大学)

1. 公的対人サービスの民営化と非営利・営利サービス供給組織をめぐる論点——7年間のパネル調査の結果から 須田木綿子 (東洋大学)
2. ドイツの依存症ケアシステムにおけるセルフヘルプ——日本への示唆 豊山宗洋 (大阪商業大学)
3. 東日本大震災被災地における民生委員の活動 本多康生 (福岡大学)

＜第2部会＞ 自己決定・介助 (S228)

司会:深田耕一郎 (女子栄養大学)

1. 運動的スローガンと介助実践——自立生活センターでの介助実践を事例に 鶴田明子 (じゅうと生活サポートセンター)
2. 自己決定をめぐる問題——ALSの人の生活から 長谷川唯 (日本学術振興会・京都府立大学)
3. 在宅ALS療養者のビデオエスノグラフィ——「わからん わからん」の有意味さ 樫田美雄 (神戸市看護大学)

15:15-17:15 テーマセッション/自由報告

＜テーマセッション＞シティズンシップとその外部:複数の排除、複数の包摂 (S128)

司会:亀山俊朗 (中京大学)

1. シティズンシップ、健康、人権——ケイパビリティとグローバル・ガバナンスの観点 村上慎司 (立命館大学)
2. 移民と福祉政策——シティズンシップ政策指標の分析 寺田 晋 (札幌学院大学)
3. 現代日本社会におけるフリースクールの諸実践からみたシティズンシップ形成の可能性 森田次朗 (中京大学)

＜第3部会＞ケア (S228)

司会:中根成寿 (京都府立大学)

1. 介護における感情のケアの連関構造の考察——ケアの社会化の中の感情の意味付けと配分 角 能 (東京大学)
2. 若者ケアラーの介護経験をめぐる語り——若くして家族の介護を担うことの意味 松崎実穂 (国際基督教大学)
3. 高齢者介護サービスにおける利用者の意向把握再考——デイサービスの場合 田中昌美 (甲子園短期大学)

17:45-19:45 懇親会 (大学会館 1F 食堂)

第2日目 6月19日 (日)

9:00 受付開始 (文学系S棟 1F 西ホール)

9:30-12:00 自由報告

＜第4部会＞ 福祉国家・福祉政策 (S128)

司会:所 道彦 (大阪市立大学)

1. 一般的信頼と福祉国家への支持——ISSPのデータを用いたマルチレベル分析 池田 裕 (京都大学)
2. 高齢者介護政策の展開と制度変化——制度的枠組の再編、レジーム変容、経路依存の視角から 平岡公一 (お茶の水女子大学)

3. 地方自治体における生活保護「適正化」政策の動向 中村亮太（立命館大学）

4. 米国の Infant Safe Haven Laws——新生児の生命保護をめぐる政策とその課題

吉田一史美（立命館大学）

＜第5部会＞ ジェンダー・家族への支援（S228）

司会：新田雅子（札幌学院大学）

1. ひとり親家族の自立と社会的支援——1自治体の実態調査より

神原文子（神戸学院大学）

2. 若年女性における非正規雇用・無業と自殺

平野孝典（京都女子大学）

3. 薬物依存回復施設における家族支援の現状——ダルクの全数調査を通して

安高真弓（日本学術振興会・日本社会事業大学）

12:15-13:15 総会・昼食（S235）

13:15-14:00 会長講演（S235）

14:15-17:15 大会シンポジウム（開催校・研究委員会共催）（S235）

領域横断性・創造的活動との接点から福祉社会を考える

司会：森川美絵（国立保健医療科学院）

井口高志（奈良女子大学）

1. アートと障がい福祉の接点 —アトリエ インカーブの実践現場から

神谷 梢（社会福祉法人素王会アトリエインカーブ）

2. 農業でも、福祉でもなく—〈郊外〉となった場所を／で〈分解〉する 猪瀬浩平（明治学院大学）

3. 福祉領域に再参入する宗教—社会的不利を被る人々との関わりを中心に 白波瀬達也（関西学院大学）

【発行・編集】 福祉社会学会事務局